



# フッ素ゴム ダイエル G-501NK

ダイエル G-501NK は、ビニリデンフルオライド／テトラフルオロエチレン／ヘキサフルオロプロピレン共重合体の三元系フッ素ゴムです。ポリアミンにより加硫することができます。特に、機械的性質が良好です。

## 1. 生ゴムの性質

項目	概要、データ	試験方法
外観	乳白色または淡黄色	目視
フッ素濃度	68 mass%	
比重(23°C)	1.84	JIS K 6268 に準拠
ムーニー粘度(ML1+20・140°C)	50	JIS K 6300-1 に準拠
溶解性	低級のケトン、エステルに可溶	—

## 2. 加硫ゴムの特性

項目	単位	データ	試験方法、条件
100%引張応力	MPa	4.1	JIS K 6251 に準拠
引張強さ	MPa	18.8	JIS K 6251 に準拠
伸び	%	280	JIS K 6251 に準拠
圧縮永久歪	%	65	200°CX70h、25%圧縮
硬さ(Shore A ピーク値)	—	76	JIS K 6253 に準拠

\* 上記数値は、代表値であり、保証値ではありません。

### (配合)

ダイエル G-501NK	100 部		
MT カーボンブラック*1	20 部	*1 Thermax N990	Cancarb Ltd.
酸化マグネシウム(低活性)*2	15 部	*2 キョーワマク MA30	協和化学工業(株)
加硫剤 V-3*3	3 部	*3 加硫剤 V-3	ダイキン工業(株)

### (加硫条件)

プレス加硫	160°C × 20min
オープン加硫	200°C × 24h

### 3. 取扱方法／安全情報

ご使用前に SDS とラベルに記載の注意事項を必ずお読み下さい。

当製品は一般産業用向けに供給しており、医療用途の原料としての適性や安全性について保証できません。

### 4. 梱包仕様      20kg

【連絡先】ダイキン工業株式会社 化学事業部 <http://www.daikin.co.jp/chm/>  
本社) 〒530-8323 大阪市北区中崎西 2 丁目 4-12 梅田センタービル  
東京) 〒108-0075 東京都港区港南 2 丁目 18-1 JR品川イーストビル